TOTAL P.01

(1.1) -1- 12_21土_8・9CS6_見開き.indd 2019/12/17 13:27

空 SORA NPOのリレーコラム

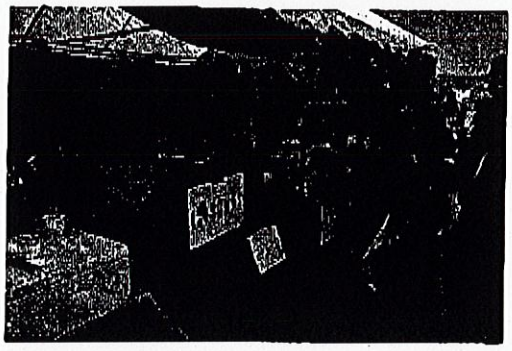
<93>

市民有志が被災地を支える

◇◇◇ 太田秋夫

穂保被災者支援チームは、発災1週間後の10月20日に活動をスタートしました。避難所に来ていない在宅・親戚避難者に炊き出しによる食事と救援物資を提供しています。当初は避難所の運営にボランティアで関わっていましたが、行政の手が届かないところで困っている被災者がいることに気づいたからです。

全員が個人の立場でチームの活動に加わり、人から人へとその輪が広がりました。泥出しという力仕事はできないが、炊き出しのお手伝いや救援物資の整理ならできる、1日中は無理だが半日だけなら助ける…。そうしたボランティアをチームは受け入れました。人のつながりだけでなく、SNSを通じての申し出もたくさんありました。未曽有の災害に接し「何かしたい」という人が大勢おり、その人たちの力と行動で、当初は穂保区を対象とした取り組みが長沼地区全域、豊野地区へと広がりました。



穂保被災者支援チームの炊き出し

炊き出しは当初「お弁当は欲しいが、拠点まで取りに行けない」という声を聞いて個別配送もしました。被災者が必要とする物資は刻々と変化し、その都度フェイスブックで呼びかけました。全国各地から送られてきて、私たちのチームの活動は全国の善意と被災者とをつなぐ活動だと認識するようになりました。

当初は批判的な声もあったボランティアへの炊き出しも支持を得て今では当たり前になりました。感謝の気持ちを伝え、「またお願いします」との期待を込めた取り組みです。

チームの動きを毎日フェイスブックに投稿し、考え方や気持ちを伝えるよう心がけました。シェアが多く、フォロワーは1600人を超しました。

現在は次のステージとして各区で週2回、「集いの場」（サロン）を設けて食事を提供しています。いずれ社会福祉協議会の支え合い活動、地元の皆さんによるサロンへとつながっていくまでお手伝いしようと思っています。

（穂保被災者支援チーム代表）

市民とNPOのひろば

ながの協働ねっと「市民とNPOのひろば編集委員会」
事務局市民協働サポートセンター TEL223・0051 FAX223・0052

EVENTS イベント情報

◆弁当の日「竹下和男先生講演会＆座談会」
時1月12日（日）10:00～12:00 所県立図書館3F「信州・学び創造ラボ」内こどもが作る弁当の日の提唱者を迎え学びます※お土産と味噌汁のふるまいあり 費無料 対親子での参加も可 定30人
主問 NPO法人食育体験教室・コラボ 090-3918-6059（飯島） メール kobo_0819@yahoo.co.jp

◆NPOステップアップ講座「コミュニティマネジメント作戦会議」
時1月18日（土）15:00～18:00 所トイーゴ生涯学習センター3F第1会議室 内コミュニティづくりのコツは？団体運営のカギを学ぶ 師呉哲煥（ごてつあき）さん（NPO法人CSファクトリー） 費1団体1000円（2～4人） 対NPOなど市民活動団体 定限定20団体
主問 市民協働サポートセンターまんまる TEL223-0051 FAX223-0052 メール npo@nagano-shimin.net

2019-12-17 13:52 FROM ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰﾏﾝﾏﾙ TO 223005 2 P.01/01